留学報告書

マッターホルンで

Gala dinner

Radcliffe Camera

イタリアのトレビの泉で

ロンドンで

留学先国	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ
留学先高等教育機関名	英文：University of Oxford　Hertford college 和文：
留学期間	10 年 10　月 ～　　3　年　8　月
留学を開始した時の学年	2 年生

授業料（プログラム費用）	450 万円（学費、教科書代、寮費、食費、空港送迎費用）
宿舎費（1 か月あたり）	450 万円（学費、教科書代、寮費、食費、空港送迎費用）
食費（1 か月あたり）	450 万円（学費、教科書代、寮費、食費、空港送迎費用）
通学費（1 か月あたり）	0 円
教科書代	450 万円（学費、教科書代、寮費、食費、空港送迎費用）
渡航旅費	12.5 万円（マイル使用）
保険料	7.5 万円
その他（　　）	万円

1）種類
☒寮　□アパート　□ホームステイ　□ルームシェア
2）部屋の形態
☒個室　□相部屋
3）設備
☒シャワー　□お風呂（浴槽）　☒トイレ　☒エアコン　☒キッチン　☒ランドリー

☒インターネット環境　☒食堂　□電話　☒Studying Room　☒宅配ボックス ☒その他（電子レンジ、冷蔵庫、食器類もありました。　）
4）住居を探した方法
☒海外留学先大学の指定　□海外留学先大学のホームページ　□留学経験者に聞いて □個人的に探した　□その他（　　）
5）大学までの利用交通機関と通学時間（片道）
利用交通機関：□バス　□電車　□自転車　☒徒歩　□その他（　　）
通学時間（片道）：5 分

1)大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？
□はい　□いいえ　☒わからない
2）現地で病院にかかったことはありますか？
□ はい（利用機関名：　　）　☒いいえ
3）保険について、現地の医療保険に加入しましたか？
□はい　☒いいえ
4）留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？
☒はい　□いいえ 「はい」の場合予防接種の種類：コロナワクチン 2 回
5）学内外で問題が発生したときは，誰に相談しましたか？
☒留学先の友人　☒日本にいる友人や家族　□海外留学先大学の先生 □海外留学先大学のカウンセラー　□海外留学先大学の留学担当窓口 □ホストファミリーや RA（レジデンスアシスタント）　□その他（　　）
6）現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？
オックスフォードは学生の多い街なので、とても治安が良く事件に巻き込まれることもありませんでした。ロンドンに行くときは、スマホをポケットの中に入れずに、鞄にしまうことを徹底していました。
7）パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？
寮内のネット環境はとても悪かったです。パソコンが WiFi に繋がらないことが頻繁にありました。
8）現地での資金調達はどのように行いましたか？
アルバイトが出来なかったので、親に海外送金をしてもらっていました。
9）利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物はありますか？
寮のすぐ隣に小さなスーパーがあったり、寮からで徒歩で 20 分ぐらいのところにショッピングモールがあったためとても便利でした。ほとんどの食料は現地で手に入りますが、やはり物価が高いので、お金を節約したい方は日本から調味料や食べ物などを持っていくことをおすすめします。ちなみに、レトルトの味噌汁を沢山持っていきましたが、かなり余ったので食べる分だけ持っていった方が良いと思います。
10）授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？

☒海外送金　☒クレジットカード　□口座振込　□その他（　　）
11）その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。
洗濯機、乾燥機は寮にあります！乾燥機を使わない人は、下着、靴下を干す用にピンチハンガーを持っていくことをおすすめします。

1）現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？
☒留学先大学のピックアップサービス　□公共交通機関（バスや電車）□ホストファミリーのお迎え □その他（　　）
2）到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？
☒はい（期間：２日程　　）　□いいえ

履修した授業科目名
Presentation
授業内容や試験、授業を受けた感想について
とてもよい授業であったと思います。いくつかのテーマに沿ってプレゼンテーションをする機会が６回程ありました。回を重ねるごとに人前でプレゼン能力が身についていくのを感じました。毎回先生からアドバイスを頂けたため、そのアドバイスを生かしながら次のプレゼンテーションを作ることが出来ました。

履修した授業科目名
Academic Writing
授業内容や試験、授業を受けた感想について
この授業は、アカデミックなエッセイの書き方を学ぶ授業です。ターム１で基礎的なことを学び、ターム２ではそれを生かしてエッセイを書く練習をしました。IELTS の Writing-part2 で、このようなエッセイを書かなくてはならないため、IELTS の writing 対策にもなりました。

履修した授業科目名
Exam Skills
授業内容や試験、授業を受けた感想について
TOEIC または IELTS の試験対策をする授業です。私は、IELTS を選択し、Reading, Listening, Speaking, Writing の 4 技能テストの対策を行いました。日本に帰国後、IELTS の本試験を受ける予定であったため、特にこの授業に力を注いでいました。効率的な問題の解き方や高得点を取る鍵を教えて頂いたので、とてもためになった授業です。

履修した授業科目名
Current Affairs
授業内容や試験、授業を受けた感想について
ニュース記事を読み、それに関するディスカッションをする授業です。800 ワード程度の記事を読み、ボキャブラリー問題や「True or False」問題を解いていくので、最新のニュースが分かると同時に読解力を向上させることが出来ました。またディスカッションの時間で、自分の意見を英語で述べる機会がありました。このディスカッションを通して、着実に自分のスピーキング力が上がり、自分の考えを相手に伝える能力が高まったと思います。その点を考慮すると、Current Affairs はとても良い授業であると思います。

留学体験記

留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由	「オックスフォード大学」であるからです。ほとんどの人々がオックスフォード大学という名前を聞いたことがあると思うし、オックスフォード大学は、優秀な人材が集まる大学として多くの人に認知されているはずです。私は、オックスフォード学生と出会って強い刺激を得たいと思いこの留学先を選びました。また、綺麗なイギリス英語を学びたかったことも理由の 1 つです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	最初の数ヶ月は、耳を英語に慣れるのに苦労したという話を留学経験者から伺っていたので、まず耳を英語に慣らすことが 1 番必要であると思いました。色んな方法を試しましたが、洋画を見ることが最も効果的な勉強法だったと思います。私は、昔からハリーポッターが大好きで何回も日本語吹き替えで見ていました。イギリスに行く前にハリーポッター映画をもう一度見たいと思っていたため、今度は英語音声&英語字幕で見て英語耳を作ろうと試みました。最初は大変だったものの、着実に英語が聞き取りやすくなっていくのを感じました。

	また、国際日本学部の選択科目である「海外留学入門」という授業を取っておいてよかったと思います。その授業で、留学中に起こりうるトラブルやその対処法などを学ぶ機会があり、留学する上でとても役立ったと思います。 また、私の留学プログラムには「British history」という授業があったため、高校の頃に使っていた世界史の教科書や単語集に取り組み、イギリスの歴史を再確認しました。 食料やシャンプー、リンスーなどの消耗品は日本から持ってきたので特に不便だとは思いませんでした。イギリスの物価はかなり高いので(醤油が 1500 円でした。)日本から食料や調味料を持っていくことをおすすめします。また、スーツケースは２個持っていった方が良いと思います。
留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等	英語の意味を調べる際に「Cambridge Dictionary」を使っていました。またイギリスで、人とやり取りをする時に LINE ではなく WhatsApp というアプリを使ったのであらかじめインストールしていった方が良いと思います。
大学・学生の雰囲気（職場や同僚の雰囲気）	大学の雰囲気はとてもよかったです。オックスフォード大学には 30 以上のカレッジがあります。私が留学していたハートフォードカレッジはほかのカレッジと比べてそれほど大きくないカレッジですが、フレンドリーな方々が多く、とてもアットホームなカレッジでした。日本に興味がある学生さんが多く、食堂で「日本人ですか？」と話しかけられることもありました。
滞在先の雰囲気	この留学プログラムに参加している他の日本人学生９名(明治学院大学、大妻女子大学、関西学院大学)とシェアハウスをする形でした。メンバー間の雰囲気はとてもよく、大きな争いは無かったです。他の住人ともキッチンで会うことが頻繁にあり、よくおしゃべりをしていました。また、寮には個別のシャワールーム、トイレ、冷蔵庫が備わっており、とても過ごしやすかったです。キッチンに洗濯機や乾燥機もあるため、コインランドリーに行く必要もありませんでした。ただ、それぞれ１台ずつしかなかったため毎日洗濯機と乾燥機の争奪戦状態でした。
留学先における交友関係	私は、現地の学生と交流を深めるためにいくつかの Society に参加していました。その結果、複数の現地の友達を作ることができ、彼らと放課後に遊んだり、フォーマディナーに行ったりしていました。また、私は毎週土曜日に、OUJS(Oxford University Japan Society) の Japanese Conversation Class に参加し、現地学生に日本語を教えていました。そこで一緒にスイス旅行に行くぐらい仲の良い友達に出会うことが出来ました。自分から動かないと現地の友達を作るのは難しいと思うので、沢山の活動に参加することをおすすめします！また、同じ留学プログラムに参加している日本人留学生(明治学院大学、大妻女子大学、関西学院大学)がいたため、何か困った時は、互いに支えあっていました。
留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと	私は、日本で滅多に体調を崩すことが無かったものの、気候の変化(イギリスはすごい乾燥しています)によって、留学中は何回も体調を崩してしまいました。 なので、あまり日本で体調を崩さない人でも沢山の薬を日本から持っていくことをおすすめします。また、クレジットカード、デビットカードが使えないことが何回かありました。ですので、複数のクレジットカード、デビットカードを持っていくことをお

	すすめします。特に友達と海外旅行に行きたい方はデビットカードが複数枚あったほうがかなり便利だと思います。
留学先における学習、課題や試験	現地に着くと、まず TOEIC か IELTS どちらの授業を取るか決めることになります。私は IELTS 選択し、週 1、2 回の頻度で IELTS の授業を受けていました。IELTS の試験はターム 1 とターム 2 の最後にあったため(※本試験ではありません)、それに向けて放課後も自主学習で IELTS の勉強をしていました。
大学外の活動（課外活動や自由時間など)	土曜日は、OUJS(Oxford University Japan Society)の Conversation Class に参加し、現地学生に日本語を教えるボランティア活動をしていました。他にも Walking Society や Ice skating Society にも参加しました。また平日の夜は、課題や自主学習に取り組んだり、色んなカレッジのフォーマルディナーに行っていました。土日は授業が無い為、ロンドンにお出掛けに行ったり、ミュージカルを見に行ったりしました。また、１２月－１月にかけて、2 週間程のクリスマス休暇があったため、その休みを使ってフランス、イタリア、ドイツの海外旅行に行きました。
留学を志す人へメッセージやアドバイス	留学を行こうか迷っている方は、絶対に行くべきだと思います！！ 言語の壁の問題や治安の問題があり、海外留学することに不安を感じている方も多いと思います。確かに、慣れるまでは苦労しますが、次第に今まで抱いていた不安がまるで嘘かのように消えるし、海外で生活することの素晴らしさを知ることが出来ると思います！私自身、留学に参加したことで視野がとても広がり、1 人で生きていく力も身につきました。そして、海外留学をより良いものにするためには自分から動くことがとても重要です！自分から積極的に動かないと、良いチャンスを得ることは出来ません。せっかく留学に行くのなら、リミッターを外して、自ら色んなことに挑戦し、尚且つ楽しんでください！！
就職活動について 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。例えば、留学前や留学中の就職活動へ向けた準備や、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。 ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。	
私は大学 2 年生の秋学期にこのプログラムに参加しました。就職活動が本格的に始まるのは大学 3 年生の 6、7 月からと聞いていたため、留学前は就職活動の準備は全くしませんでした。私は、この留学のおかげで自己分析をする機会を得られたと思っています。日本に居るだけでは気づかなかった自分の強みや弱みを、留学中発見することが出来ました。また、大学 3 年生の日本人学生も同じプログラムに参加したため、お話を聞き、様々な情報を得ることが出来ました。そして、近くに就職活動中の方が居たことによって、「私も、もうそろそろ就職活動をしなければならない」と実感しました。早めの行動が重要だというお話を頂いたので、帰国してすぐ就職活動の準備をしようと心に決めました。	